

平成29年度 富山こども園 全体的な計画

法人理念	ひとりひとりを大切にする									
基本方針	◎生命の維持 情緒の安定を図り、自発的なあそびや生活を通し心身の健康と自立を育む環境をつくる◎様々な体験の中で五感を生かし豊かな心を育む◎家庭や地域社会との連携を大切にし、ともに子どもの成長を見守る									
保育目標	◎健康でいきいきと活動する子ども ◎思ったことを素直に話し表現する子ども ◎自分のことは自分でする自立した子ども ◎やさしい心をもち夢をひろげる子ども ◎友だちと一緒に遊ぶ子ども 保育園生活の中で色々な遊びを体験しながら上記目標を目的として保育を展開します。									
社会的責任		人権尊重		説明責任		情報保護		苦情処理・解決		
○子育て家庭や地域に対しての役割を確実に果たす		○保育教諭等は、保育の営みが子どもの人権を守るために法的・制度的に裏付けられている事を認識し、理解する		○保護者や地域社会と連携や交流を図り、風通しのよい運営をする事で、一方的な「説明」でなく分かりやすく応答的な「説明」をする		○教育保育にあたり知り得た子どもや保護者に関する情報は、正当な理由なく漏らしてはならない		○苦情解決責任者、苦情解決担当者、第三者委員等の体制を整備して利用者の苦情処理、解決を図る		
教育保育の内容										
		ひよこ組(0歳児)	あか組(1歳児)	おれんじ組(2歳児)	もも組(3歳児)	き組(3歳児)	あお組(4歳児)	みどり組(5歳児)		
養護・教育	生命の保持 情緒の安定	○家庭との連携を密に取りながら生活リズムの一体化をはかり、心身の発育・発達の状態を把握する ○特定の保育士との愛情豊かな関わりの中で丸ごと受け止めてもらうことの心地よさを味わえるようにする ○一人一人の子どもが周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする	○自分でやりたいという気持ちを受け止め、援助しながら満足感を味わえるようにする	○自我の芽生えを喜び、受け止めてもらい自分の感情を表出したり抑えたりして気持ちを立て直していけるようにする	○基本的な生活習慣を身に付けられるように援助する	○基本的な生活習慣が身に付き、自発的に取り組めるようにする	○達成感や自信を持つことで、充実感を味わえるようにする ○日々の生活の中で成長を喜び合い、心の安定を得られるようにしていく ○保育教諭や友だちに主体として受け止められる中で自己を十分に発揮する ○就学に期待を持ち意欲的に活動できるようにする	➡		
	健康	○生活リズムを身につけ身体を動かす ○清潔にしようとする心地良さを感じる	○簡単な身の回りのことに興味を持ちいろいろな遊びの中で十分に体を動かす	○生活の中で援助してもらいながら自分でできた事に喜びを感じる	○色々なことに興味関心を持ち、身の回りのことも少しずつ自分でする	○自分の身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする ○自ら体調の変化に気付くよう関わる	○自分の健康に関心を持ち、基本的な生活習慣や態度を身につけ、理解する			
	人間関係	○人への基本的信頼感の芽生えを育む ○安心できる保育士のもとで身近な友だちに関心を持ち、模倣して遊んだり親しみを持って関わろうとする	○保育者を仲立ちとして、友だちとのやりとりを楽しみながら関心を広げていく	○友だちと一緒に過ごす楽しさを知り、様々な遊びを通して友だちとの関わりを深めていく	○友だちとの良さに気付き会話を楽しむ中で自分の思ったことを相手に伝え、保育士の仲立ちのもと相手の思いにも気付く	○友だちと楽しく生活する中で決まりの大切さに気付く、守ろうとする ○自己主張が多くなりぶつかり、葛藤したりして相手の気持ちを理解する	○友だちと関わる中で共通の目的を見だし、協力して物事をやり遂げようとする ○様々な人との交流を通して豊かな人間性を身につけていく			
	環境	○安心できる保育教諭等のもと身近なものに興味や関心を持ち見たり触れたりする	○身近な環境に親しみ保育士と共に生活や遊びを楽しむ	○戸外遊びの中で植物や生き物に触れ、興味を持って遊ぶ ○身近な環境に興味を持ち自分から関わり、生活を広げていく	○身近な動植物や人々に関心を持ち生活や遊びに取り入れる	○自然や身近な事物に興味を持ち工夫して生活や遊びに取り入れる	○周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活や遊びに取り入れて発展させようとする			
	言葉	○喃語や片言に反応してもらったり、優しく語りかけてもらうことで意欲的に発語しようとする	○保育教諭等の応答的な関わりや話しかけにより、自ら簡単な言葉を使おうとする	○言葉への興味や関心を持ち言葉のやり取りを楽しむ	○自分の意思や経験したことを友だちや保育教諭に話し、会話を楽しむ	○身近な事物や事象について話したり日常生活に必要な言葉を使う中で相手の話を聞き、伝え合う喜びを味わう	○人の話を注意して聞き、共通の話題を話したり、日常生活に必要な言葉を適切に使う			
	表現	○様々な経験を通して手足や身体を動かすことを楽しみ、身近な人や物に自発的に働きかける	○人や動物などの模倣をしたり、経験したこと、興味のあることなど自分なりに表現することを楽しむ	○音楽に合わせて一緒に歌ったり、絵本を見る楽しさを知る ○伸び伸びと体を動かしたり、表現したりする楽しさを味わう	○生活の中で様々な音や色や形などに気付き友だちと表現遊びを楽しむ	○身近な物への関心が高まる中で感じたことや想像したことを自由に描いたり造ったりする	○感じたこと、想像したことを言葉や体、音楽、造形などで自由な方法で様々な表現を楽しむ			
食育	食を営む力の基礎	○食に対して意欲が高まり、手づかみで食べようとする	○楽しい雰囲気の中で保育士や友だちと一緒に興味を持って、自ら食べようとする	○自ら食べる楽しさ、おいしさを知り食材にも関心を持つ	○何でも食べる大切さを知り、食事のマナーを身に付ける	○すべての食べ物から命をもらっていることを知り、命の大切さを知る	○作ってくれる人に感謝の気持ちを持つ ○食が生命にとって重要であることを知り、栄養バランスを意識する			
健康管理	・健康状態、発育状態の定期的、継続的な把握 ・異常が認められたときの適切な対応			・年2回の嘱託医による内科検診、歯科検診(年1回)		研修計画	・園内研修(教育保育要領、公開保育・教育保育技術等) ・篠山市内身振りグループ、発達支援グループ、給食グループ ・園外研修(各種団体が実施する研修への参加)			
環境・衛生管理	・施設内外の設備、用具等の清掃、消毒、安全管理及び自主点検 ・定期的な外部業者による点検及び整備、害虫駆除			・子ども及び職員の清潔保持 ・空気清浄機、加湿器の設置		特色ある保育	・体育指導 ・英語あそび ・世代間交流			
安全対策管理	・毎月避難訓練(火災・地震)を実施			・危機管理マニュアルの活用		地域への行事参加	・施設や地域等の敬老会参加 ・幼小中高校との交流			
保護者・地域への支援	・育児相談 ・園便りの発行 ・保護者懇談会 ・図書貸し出し ・子育てひろば ・園庭開放 ・実習生(保育士・幼稚園教諭養成校)の受け入れ ・ボランティアの受け入れ ・トライやる(中学生)、インターンシップ(高校生)の受け入れ					評価	・園の評価(全体の反省による全体的な計画への反映) ・保育教諭の評価(自己評価・他者評価)			
給食管理	・乳幼児の健やかな心身の発達と健康保持の増進 ・毎月予定献立表作成 ・職員による検食 ・栄養給与目標に準じた給食 ・毎月の給食検討委員会 ・2週間の保存食 ・各年齢に応じた食育年間計画表(別記)									